

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営方針

100億人・100歳時代の豊かで持続可能な社会の実現を目標に、事業を通じた社会価値の創出と社会課題解決を目指す

売上高
1,220億円

経常利益
90億円

ROE
8%

② 中長期の経営戦略

1. 事業戦略

TTC：調査・コンサルティング事業を再強化、電力・エネルギー、医療・介護、ビジネスアナリティクス・AIに集中。ITS：大手メガバンク中心に金融DXパートナーとしての地位確立を目指す

2. 基盤戦略

TTC：人的資本経営、グループ連携強化、先行投資、生成AI活用による生産性向上、リスク管理高度化。ITS：技術基盤強化、営業力・事業基盤強化、働き方改革

3. 価値創造戦略

財務・非財務・社会の3価値の好循環・拡大によるサステナビリティ経営。社会課題解決企業グループとしてのブランドイメージ確立

4. 事業戦略の再構築

2026年9月期にTTC調査・コンサルティング再強化、ITS金融分野推進。2027年9月期開始の次期中計策定で中長期成長戦略を検討

③ 対処すべき課題

① 事業ポートフォリオ転換

- ・ 人的リソース制約のない事業モデルへの転換が必要
- ・ PROSRVやmiraicompassに続く新サービスの開発
- ・ 海外事業展開と多様なパートナー連携の推進

② 人的資本経営の強化

- ・ 必要な人材確保と最適なポートフォリオ実現
- ・ FLAPサイクルによる個別キャリア形成支援
- ・ 連峰制導入で複線型キャリアパス実現、シニア処遇改善

③ 市場環境への対応

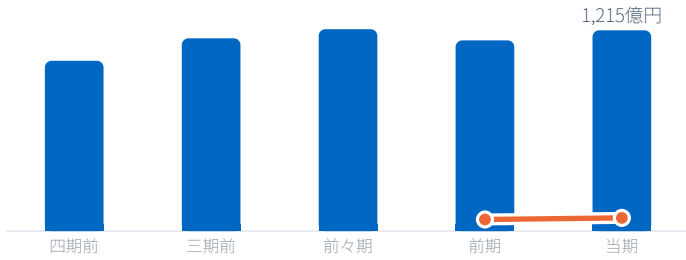
- ・ 金融業界のAI・クラウド・フィンテック急速対応
- ・ 社会課題の複雑化・高難度化に対応した実装力強化
- ・ コンサルティング機能強化で顧客ニーズに対応

面接で使えるポイント

- ・ 100億人・100歳時代という世界規模の課題設定で、社会価値・非財務価値・財務価値の3価値循環を実現する経営理念に共感で…
- ・ DX事業成長と基幹事業質の改革による成長方針のもと、電力・エネルギー…
- ・ FLAPサイクルや連峰制といった人事制度による柔軟なキャリア形成と…

証券コード 3636

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
1,215億円営業利益率
6.6%財務健康度
55点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 64.9（当サイト算出の参考指標）

平均年収
1,082万円

情報・通信業内 24位/592社

平均年齢
40.4歳

情報・通信業内 166位/593社

平均勤続
11.0年

情報・通信業内 106位/593社

女性管理職
12.8%

情報・通信業内 204位/373社

男性育休
75.0%

情報・通信業内 185位/297社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 三菱総合研究所とPKUTECH、「AI Memory RAG

